

## ジェローム・レーブル来日講演

### はじめに

西山雄二

2013 年 10 月、国際哲学コレージュのプログラム・ディレクターであるジェローム・レーブル (Jérôme Lèbre) 氏を招聘して、計 3 回の連続講演会を開催した (学長裁量経費・研究環「カタストロフィと人文学」による招聘事業)。

ジェローム・レーブルはヘーゲル研究の泰斗ベルナル・ブルジョワに師事し、ヘーゲルに関する博士論文『アイデンティティの筋道』を執筆した (*Le Fil de l'identité*, Olms, 2008)。その後の著書として、ヘーゲルとフランス現代思想 (ドゥルーズ、デリダ、リオタール) の関係を論じる『現代哲学の試練にかけられるヘーゲル』 (*Hegel à l'épreuve de la philosophie contemporaine*, Ellipses, 2002)、『速度』 (*Vitesses*, Hermann, 2011)、『デリダ——条件なき正義』 (*Derrida: la justice sans condition*, Michalon, 2013) などがある。

日本での連続講演の概要は以下の通りである。

2013 年 10 月 22 日 (火) 東京大学 (駒場キャンパス)

「リオタールとヘーゲル——争異と弁証法的差異」“Lyotard et Hegel : différent et différence dialectique”

司会：小林康夫 (東京大学) コメント：星野太 (東京大学)

主催：東京大学「共生のための国際哲学研究センター (UTCP)」

2013 年 10 月 23 日 (水) 首都大学東京 (南大沢キャンパス)

「原子力の建築／ポスト原子力の建築——カタストロフィのなかで構築すること」

“L'architecture nucléaire/post-nucléaire : construire dans la catastrophe”

司会：西山雄二 (首都大学東京)

2013 年 10 月 25 日（金）立命館大学（衣笠キャンパス）

「駆け足——ジャック・デリダにおける脱構築と政治の速度」“Pas de course :  
déconstruction et vitesse de la politique chez Jacques Derrida”

司会：加國尚志（立命館大学）

主催＝立命館大学人文科学研究所「暴力からの人間存在の回復」研究会